

2004年度 B l o c k . 6

課 題 N o . 5

課題名：足から白い糸が



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

医大生A子さんの家庭での会話 母：主婦 兄：内科研修医

母：「以前にテレビで見たけれど、人間の足から白い糸が出てくるなんてことあるの？」

A子：「...病気かな？聞いたこともないわ」

兄：「僕の友人が青年海外協力隊で西アフリカに行った時に見たそうだよ」

途上国での生活は日本と違っていろいろ大変だったそうだ」

母：「どんな所？まだまだいろんな病気があるんでしょうね」

抽出を期待する項目

青年海外協力隊、国際医療協力、西アフリカ、いろんな病気

資料1 メジナ虫流行地域の風景ビデオ（3分）

シート2 父：感染症の専門医

父：「それは寄生虫の一種なんだ」

A子：「あーそうか。どうして罹るんだっただけ？」

父：「自分で調べてみたら」

母：「途上国では飲み水も心配だわね」

抽出を期待する項目

メジナ虫（ギニア虫）、寄生虫感染症、感染経路、安全な飲み水

資料2 メジナ虫症の患者写真

シート3

A子：「安全な飲み水があればこの病気はなくなるかもね」

兄：「友人は井戸を掘ったりしていたそうだ」

父：「それも立派な医療協力活動なんだ」

母：「日本ってお金を出すだけじゃないのね」

抽出を期待する項目

プライマリヘルスケア、医療協力活動、感染症の根絶

シート4

A子：「昔、日本ではどんな病気がはやっていたの？」

「今では見られなくなった病気も多いんでしょう？ どうしてなくなったの？」

父：「衛生状態が悪かったからね。私が医師になりたての頃はいろんな活動をやったものさ」

「でも最近になってまた増えてきたものもあるからね」

母：「そういえば、日本にSARSの患者がでなくてよかったわね」

A子：「今度は鳥インフルエンザもでてきたからね。油断できないわ」

兄：「狂牛病もあるし、食べ物も安心できないよな」

抽出を期待する項目

新興・再興感染症、輸入感染症、SARS、鳥インフルエンザ、狂牛病、リスクマネ
ジメント、感染症の根絶